

昭和中学校区エリア別ミーティング特集

自治会と行政が話し合う場「エリア別ミーティング」が、昨年10月開催されました。出席者は自治会側が昭和中学校校区の自治会役員、行政側が市長、副市長、提出課題を担当する部長でした。ここで話し合われた内容のうち、私たちの関心があることについて概要をお知らせします。

1. 図書館本館移転に伴う東部分館又は図書館機能の設置要望

(生涯学習部の回答) 令和2年3月教育福祉総合センター内に新しい図書館がオープンするため、現在の市民図書館は令和元年12月末で閉館となる。

そこで、当面令和2年1月から総合スポーツセンターで予約本の受け取りができるようになる。

また4月以降移動図書館もくせい号を昭和公園に重点配置するほか、夜間予約本の受け取りができるよう、もくせい号を東中神駅近くに配置することを検討している。

なお東部地区に分館のような図書館機能を設けることについては引き続き検討していく。

2. 国営昭和記念公園昭島口の「昭島の顔となる入口」への整備要望

(都市計画部の回答) 立川基地跡地の開発に合わせ、市としても利用者に認識されやすくまた多くの人に利用してもらえるような昭島口していきたいと考えていて、これまでも国土交通省、昭和記念公園、財務省等の関係機関と協議を重ねてきている。

一方、昭和記念公園も公園の整備・管理運営プログラムに基づき、昭島口周辺の再整備を計画していて、昭島口周辺整備について民間事業者等に意向調査を行うと聞いている。

その際は市のまちづくりの考え方を十分反映するよう昭和記念公園側に伝えている。

3. 東中神駅周辺の整備計画

(都市計画部の回答) 法務省施設は運営開始していて、職員宿舎も入居が済んでいる。

法務省施設の南側街区はマンション、戸建て住宅、商業施設ができる予定で、その一部については既に関係申請が出されている。

また交通広場の北側街区はUR都市再生機構が、駅南側のUR団地の建て替え用地として利用する計画である。

この建て替え計画の最終段階では、駅南西側の線路沿いの棟があった場所が跡地として残ることになるが、この土地利用については現時点では未定となっている。

*裏面 「立川基地跡地周辺のまちづくり 2019.05 現在」参照

4. 市民球場西側遊歩道の舗装改修要望

(生涯学習部の回答) 舗装してから7年が経過し、舗装面の剥離や沈み込みが激しく危険なため、平成30年度から2か年計画で舗装改修工事を実施中。

舗装工事は従来のウッドチップ舗装ではなく、耐久性に優れたゴムチップ舗装とし、令和2年3月完工を予定している。